

地域経済活性化フォーラムの概要（平成30年5月18日開催）

（1）開会挨拶

北陸財務局 岩下局長

地域の稼ぐ力の向上に資する取組みについて、しっかりと議論し連携を深めていくことが重要。当局も積極的に議論に参加し、支援させていただきたい。

福井県 山田副知事

北陸新幹線の開業まで5年を切った。産学官金の連携によって地域の活力を生み出していくことが極めて重要と考える。

（2）地域が抱える課題説明

福井市 東村市長

交通体系の整備と合わせて観光振興が大きな柱。滞在型・周遊型観光を目指し、他市町や県と連携を強めながら、新しい観光コースを作り上げる必要がある。

大野市 岡田市長

中部縦貫自動車道の全面開通により、民間事業者には新たなビジネスチャンスとして投資につなげていただき、行政は大幅増が見込まれる観光客の受け皿を整備する必要がある。

勝山市 山岸市長

恐竜博物館を中心に観光コンテンツは豊富にある。昨年、まちづくり会社を設立（市、商工会議所、地元銀行出資）し、新しく地域の観光産業化を目指し取り組んでいる。

あわら市 佐々木市長

新幹線延伸に向けて、市全体の観光戦略とロードマップを今年度中に策定する。そのうえで、近隣市町や民間事業者等と連携して、周遊性を高めることと、インバウンドの受入強化を図りたい。

坂井市 坂本市長

東尋坊や丸岡城などの観光資源の更なる充実と、二次交通の整備が課題。また、観光だけでなく、市の特長である豊かな自然等と結び付けて市の産業全体の振興に取り組むことが重要である。

永平寺町 河合町長

中部縦貫道のIC周辺エリアにおいて、厳しい規制により宅地造成や企業誘致が進まない現状がある。行政として、民間事業者の成功事例づくりを支援し、民間投資が進展するよう取り組む必要がある。

（3）交通体系の整備について

近畿地方整備局

中部縦貫自動車道は昨年7月に北陸自動車道から大野ICまでつながり、移動時間の短縮化等により誘客に貢献している。今後、物流拠点としての企業立地の促進や災害時の迂回路としても期待される。

（4）政府系金融機関等からの提案

地域経済活性化支援機構

観光まちづくり組織体（DMC）を司令塔役に、自治体、民間事業者等を含めた地域全体の連携体（DMO）の形成による観光消費額増大について提案。

日本政策投資銀行

福井の歴史風土・伝統・産業を魅せる生活文化観光として、ホームステイ等の長期滞在型観光を促す仕組みづくりについて提案。

(5) 地域金融機関からの提案

福井銀行

各市町のDMCとそれらをマネジメントする嶺北広域DMCを設立することによる、地域一体となった観光経営について提案。

北陸銀行

地域連携DMO設立による地域の観光マネジメント、古民家等の歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進、キャッシュレス決済インフラ整備支援等について提案。

福邦銀行

開放特許を活用した地元食材による新商品開発、地元食材等の県外スーパー等への販路開拓、観光地周辺でのイベント開催等について提案。

福井信用金庫・越前信用金庫

温泉旅館等の送迎バスを活用した駅からの二次交通補完や、信用金庫ネットワークを活用した観光PRや団体旅行誘致等について提案。

(6) 国からの提案等

北陸財務局

酒蔵を中心とした地域資源の活用による経済活性化について提案。

北陸農政局

「農泊」(農山漁村の滞在型旅行)の推進に係る施策を紹介。

日本政策金融公庫

起業マインド養成の取組み事例として『高校生ビジネスプラン・グランプリ』を紹介。

(7) 閉会挨拶

福井市 東村市長

高速交通の開通効果を高め、県内全域に浸透させていくために、関係機関の方々とこれまで以上に連携を深めて、活力と魅力ある地域形成を目指して取り組んでいきたい。

以上

